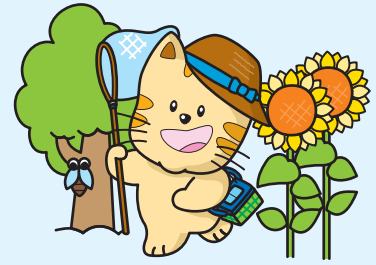


母と子のにわ

—利用者みなさまと大阪母子医療センターをつなぐ—



vol.47 2021年7月

当センターで行っている 新型コロナウイルス感染防止に向けた取り組みについて

- 1 コンビニ側の出入口を封鎖しています。
入館される際は、駐車場側の出入口をご利用ください。
- 2 小児外来の同伴者は1名、母性外来は同伴禁止とさせていただきます。
- 3 駐車場側出入口では、警備員による外来受診に同伴される人数の確認と検温、手指消毒をお願いしています。
また、入館と退館の導線を分けています。
- 4 消毒液は子ども用の高さとは大人用の高さに対応した台を設置しています。
- 5 館内各所に、コロナ感染症対策に関するお願いを掲示しています。
- 6 立ち会い分娩ができます。但し、感染防止への配慮を行いながら、夫(パートナー)のみ、立ち会いができます。



面会制限の お願い

母性棟

- 個室のみ
- 週1回 30分以内
- 15～20時の間
- 夫(パートナー)のみ
をお願いします

小児棟

- 1時間/日まで
- 12～20時の間
- ご両親のみ
をお願いします
(2021年7月1日現在)

新型コロナウイルス感染症の流行状況により、上記の取り組みは変更となる可能性がございます。ご来院の前に、ホームページに掲載の最新情報のご確認をお願いいたします。

料金後払いシステム

メディカルゲートがより便利になりました！

診療費をスマホで会計を待たずにお支払できる「Medical Gate」は、皆様にご好評を頂いています。

この度、このサービスがますます便利になりました！これまでは患者さん毎に個別メールアドレスが必要でしたが、今後はひとつのメールアドレスでご家族、ご兄弟など複数の患者さんを登録することが出来るようになりました。ますます便利になった「Medical Gate (料金後払いシステム)」をぜひご利用ください。



Medical Gate

最先端の遺伝学的検査と 遺伝カウンセリング

2003年、ヒトの全遺伝子の塩基配列（ヒトの設計図）が解明されました。その後、解析技術のコストダウンで最先端の医療では全遺伝子を網羅的に解析できるようになり、新たな疾患原因遺伝子の発見もあいついでいます。当センターでは小児の先天性疾患の方を対象に、今後の見とおしを立てたり、必要な健康管理につなぐことを目的に、染色体や遺伝子を検査しています。遺伝診療科で実施している主な検査について紹介します。



染色体検査

G 分染法や FISH 法は基本的な検査で、顕微鏡を用い、染色体の数の異常や部分的な過不足を判定します。マイクロアレイ法を用いると、顕微鏡では検出できない染色体の微細な過不足が検出可能です。マイクロアレイが実施できる病院は少ないですが、当科では多数の検査を行っています。

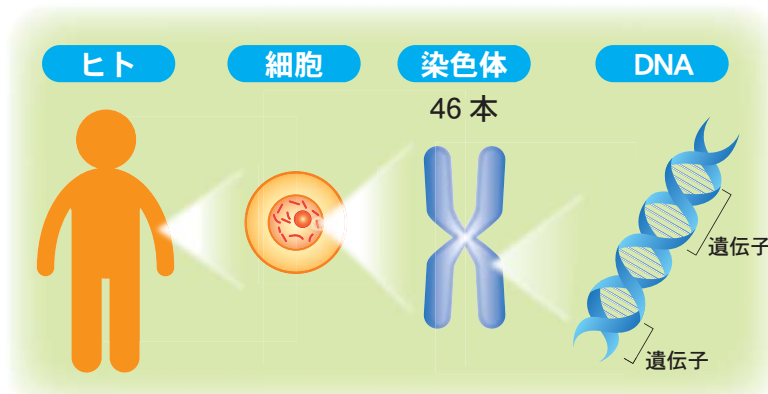
遺伝子検査

顕微鏡では遺伝子検査はできません。PCR やダイレクトシーケンスという技術を使って間接的に遺伝暗号を読むことで、標準配列との違いを検出します。保険適応の遺伝子検査と非保険の遺伝子検査があります。近年は次世代シーケンサー（NGS）という技術によって多数の遺伝子を一度に解析できるようにもなりました。

研究レベルの網羅的遺伝子解析

当センターでは、NGS を用いて全遺伝子を網羅的に解析することも研究レベルで行っています。両親も採血し、遺伝子を比較検討します。解析には数か月から 1 年程かかり、原因遺伝子が判明する方は 45% 程度です。原因が特定できてもできなくても、参加されたご家族が医学の研究に貢献いただいたことにかわりはなく、貴重なデータは慎重に取り扱われます。

遺伝学的検査によって、父母や血縁者が染色体や遺伝子に変化を持っている可能性がでてくる場合があります。検査を受ける前や検査結果を聞く際には遺伝カウンセラーが同席し、遺伝カウンセリングを行います。ご心配なことは遠慮なく相談ください。検査についてあるいは結果について理解を深めていただき、選択肢を考えていきます。



遺伝子は
体の設計図
なんだね

DNA の中に
遺伝子がいっぱい
つまっている
んだね





がんばり屋さん

株式会社 米匠庵 青木 然さん

私は再生不良性貧血という白血球や赤血球、血小板が減少していく病気でした。母子医療センターのお世話になり始めたのは中学1年生の頃なので、今年で約10年になります。

10年という長い間、ずっと私を診て下さっている主治医の先生がいます。その先生はとても素直な方で、入院中も治療が上手く行かないと私より悲しみ、良い事があった時には先生の顔見れば言う前から分かりました。

そんな先生と共に、高校1年生の頃に骨髄移植のために入院していた時のことです。2月の中頃、私が入っていた4階西棟では節分のイベントが行われていました。イベントと言っても、子供達が集まるプレイルームに鬼がやって来て、それを退治するといういわゆる豆まきです。私は棟内では比較的年上で、子供達が遊ぶのを端から見ていました。しばらくして鬼がやってくると、それは変装をした主治医の先生でした。子供といえども力は強く、勢いよく豆を鬼に対して投げつけます。そこでしっかりと退治された鬼は裏へと戻って行きます。この一幕を見て、私は思わず涙が出てしまいました。

治療の日々は大変な事ばかりだし、苦しい思いをすることはしょっちゅうです。外に出て動き回りたいと毎日のように思います。そんな子供達のために自分が鬼となり、子供達がいっぱい楽しめる時間を自らつくる姿は私にはとても格好よく見えました。「このひとと一緒に治療に臨めて良かった」と思えた瞬間だったことを、今でも覚えています。

退院して何年か経った今は通院も年に一回となり、高校を卒業して大学へ、そして今では大阪の食品会社で新社会人として働いています。先日はその会社で作った加工品を母子医療センターに寄付するという出来事もあり、こんな形で恩返しができるのかと不思議な縁を感じました。

治療は今では年に一回の通院で済むようになり、先生と会う機会もその時だけになってしまいました。

あの頃見た豆まきの鬼のように、自分以外の誰かを想って、自分から誰かを楽しませられるような格好いい大人になれるよう、体調に気を付けながら元気に頑張っていきます。



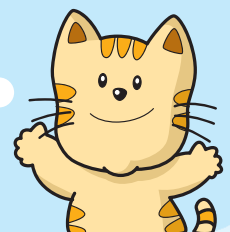
▷ 次ページに掲載のねぎ食品の一部を製造されている会社の新入社員の方です。

募集中

こちらの記事「がんばり屋さん」に
登場して下さる方を募集しています！

当センターで治療を受け、現在各方面で頑張っていらっしゃる方をご紹介ください。
自薦・他薦は問いません。詳細は、下記までお問合せください。

お問合せ：事務局 経営企画グループ 電話：0725-56-0241





産科の初診予約システム

— 紹介状のない方が対象 —

web予約ページ▶



患者さんの予約利便性向上を目的として、「ホスピタルマネージャー」という予約システムを導入しています。これは、患者さんにスマホから予約希望日の申し込みをしていただき、当センターとのやり取りを経て、予約を確定するシステムです。まずは、産科で紹介状をお持ちでない初診の患者さんについて運用を開始しています。電話、Fax予約に加えて、患者さんの利便性の向上を目指します。



ご寄附をいただきました

4月9日に大阪難波葱普及委員会様から、難波葱の加工食品をご寄附いただきました。

当日は当センターの倉智博久総長より大阪難波葱普及委員会代表の難波りんご様に感謝状を贈呈させていただきました。

難波葱は「大阪産（おおさかもん）」に選定されている大阪の伝統野菜だそうです。コロナ禍で奮闘する医療従事者を応援するため、昨年12月からクラウドファンディングで資金を集め、手軽に食べられる加工食品を開発したそうです。当センターには「難波ねぎごはん」「難波ねぎスープ」「難波ネギせんべい」を各3,000食、合計9,000食をご寄附いただきました。早速、職員に配布し、笑顔で受け取ってもらいました。どの商品も難波葱の風味が感じられ、とても美味しかったです。

昨年からのコロナ禍にも関わらず様々なご寄附をいただき、多くの方から応援していただき本当に感謝しています！



夏バテ予防！暑い夏の「あと一品」におすすめです。

材料 (2人分)

きゅうり・・・1本 (100g)
ながいも・・・5cm (100g)
みりん・・・小さじ1/2 (3g)
酢・・・小さじ1 (5g)
しょうゆ・・・小さじ1/2 (3g)
青じそ・・・2枚 (1.2g)
梅干し・・・1/2個 (3g)



大阪母子医療センター 医師・栄養士監修

長芋ときゅうりの梅あえ

長芋は、たっぷりの水分とデンプン分解酵素（ジアスターゼ）を含み、消化のよい食材です。胡瓜の豊富な水分とカリウムは、汗をかくて疲れた身体の調子を整えてくれます。梅干しに含有されるクエン酸は唾液や胃液の分泌を促し、青じそのさわやかな香り成分（ペリラルデヒド）には食欲増進作用があります。

長芋と胡瓜のみずみずしくシャキシャキした食感を、梅肉と青じそでさっぱりと楽しんでみませんか。

(栄養管理室)

- 1 下ごしらえをする きゅうりはしま目に皮をむいて4等分に切り、ながいもといっしょにポリ袋に入れてすりこぎなどで叩く。
- 2 混ぜる 1に材料Aを加えて混ぜ、器に盛る。せん切りにした青じそ、叩いた梅干しをのせる。

大阪母子医療センターの医師と栄養士による食育レシピ「こどもの心と体の成長・発達による食事II 妊娠期・乳児期」P.26に掲載されています

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪母子医療センター

〒594-1101
大阪府和泉市室堂町 840
電話 0725-56-1220 (代)
FAX 0725-56-5682



基本理念

母と子、そして家族が笑顔になれるよう、質の高い医療と研究を推進します

基本方針

- ・ 周産期・小児医療の基幹施設として高度で専門的な医療を提供します
- ・ 患者さんとの相互信頼の立場に立った医療を行います
- ・ 地域と連携して母子保健を充実させます
- ・ 母子に関する疾病の原因解明や先進医療の開発研究を進めます